

## 2025年5月のブルーベリー農園その1

東広島市豊栄町のブルーベリー農園の周辺はゴールデンウィークが田植えの時期で田んぼに水が張られ、田植えのすんだ所は早苗が水

面から少しばかり顔を出したばかりの様子なので水面は青空や夕日を写してとても田んぼが澆漉としている。安芸区の自宅から車で通っているが農園の周辺道路も信号機で渋滞が起きるのが連休の特徴。農作業はもっぱらブルーベリーの剪定を続けている。

4月30日(水) ブルーベリーの剪定は畑がすんで里山に移行している。枝も切るが、根は四方八方に広がってヒコバエを生やすのでバールを使って根を起こして切っていく。切った場所から新しい根が出てくるので新陳代謝になる



② オスのキジ (5月4日)

5月4日(日) 里山でブルーベリーの剪定作業をしているので周辺の田んぼがよく見える。田植えが始まっている。



③ エビネ

春真っ盛りの中、元気な生き物、花とブルーベリーたちの様子

① マルハナバチ (5月3日)



④ フジ



⑤ レンゲツツジ



⑥ ヤブツバキの赤とガマズミの白



⑦ ブルーベリーの花とクリームソクローバーの花



⑧ ヘアリーベッチ



⑨ 早生のブルーベリーの花と結実した実



⑩ 同じく早生の新梢



2025年5月8日  
社会福祉法人安芸の郷  
理事長 遊川和良

《2025年5月8日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログ  
に掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》